

第3回銚田市男女共同参画策定委員会 目標2(5)(6)・目標3

A班	メンバー:大久保委員(座長)・亀山委員長・坂口委員・佐藤委員
協議内容	②「男女(ひと)」と「社会」をつむぐについて (5)子育て・介護支援における男女共同参画の推進 (子)今の若い男性は比較的育児へ参入しているイメージがある (介)男性が女性ものの用品を買うと不審がられるが、その逆はそれほどおかしくはない ⇒結果介護分野に男性が参入しにくい・女性に負担がかかる ○若い世代は比較的男女共同が進んでいるように感じ、それよりも50,60代の意識(周りの目)を変えていく必要があるのではないか ○男性用お手洗いにオムツ替えの台等があまり設置されておらず、使いたくても使えない ⇒ハード整備
	(6)政策・方針決定過程における男女共同参画の推進 ○子ども議会・模擬議会等開けた議会の実施 ○女性が参画しやすいよう女性枠の設置 ○会合等における開催時間の明記(開始時刻・終了時刻) ⇒終わる時間がわからないと、スケジュールがたてにくい(参加しにくい)
	③「男女(ひと)」と「働き方」をつむぐについて (1)男女にかかわらず差別や格差の無い働き方の推進 ○「男性だから」「女性だから」という考えを無くしていく必要がある ○適材適所で働く事の出来る環境づくり
	(2)農林漁業・自営業における男女共同参画の推進 ○家族経営協定の締結 ⇒農業分野では行われている(市内約260家族)が商工業では行われていない (3)ワーク・ライフ・バランス ○何かの集まり事に出向き、公演を行う ⇒単独開催では集まらないため、何かと抱き合わせる必要がある ○市役所内での、率先したワーク・ライフ・バランスに向けた取り組みが必要となる ○企業側の話・考え方を聞く機会があっても良いのではないかと
C班	メンバー:田山委員(座長)・水上委員・佐竹委員・岸本委員
協議内容	②「男女(ひと)」と「社会」をつむぐについて (5)子育て・介護支援における男女共同参画の推進 ○男性に1日でマタニティ・育児・介護を体験してもらう事で、意識を高めてもらう事ができるのではないかと ○育休取得の具体的な取得率を示すことで、休みを取得しやすい雰囲気づくりになるのではないかと ⇒放課後教室などの育児支援により働きながら子育てしやすい環境づくり
	(6)政策・方針決定過程における男女共同参画の推進 ○報告会のようなものを人の集まる場所で開催してはどうか ○女性が市政や議会の報告会などといった所へ参加しやすいように周り(家族)の理解を深めていく施策
	③「男女(ひと)」と「働き方」をつむぐについて (1)男女にかかわらず差別や格差の無い働き方の推進 ○女性が働く事に対する男性の意識を高めていく必要がある ○女性の資格取得の支援を行ってはどうか
	(2)農林漁業・自営業における男女共同参画の推進 ○子育て支援を行う事で、仕事の男女共同参画に結びつくのではないかと ○農業ヘルパーの様な制度の導入を検討 ⇒制度等のPRがより必要となる (3)ワーク・ライフ・バランス ○働く側にも意識改革が必要になる(男性の育休取得等における周りの理解等) ○会社内での講演会を開催するよう呼びかける